

# 令和2年度事業報告

広陵町社会福祉協議会（社協）では、令和2年度の基本方針に基づき、各方面における福祉事業等を実施いたしました。経理区分ごとにご報告いたします。

## 【社会福祉事業】

### I 総合福祉会館拠点区分

#### 1. 法人運営事業サービス区分

- (1) 理事会・評議員会の開催ほか、広陵町社会福祉協議会の円滑な運営に努めています。
- (2) 財源確保のため社協会員を募集し、59名及び2団体にご賛同いただきました。(333,000円)
- (3) ホームページをリニューアルし、情報発信に努めました。

#### 2. 地域福祉事業サービス区分

##### (1) 日赤募金事業

赤十字奉仕団への支援のほか、各種団体等の行事開催にあたり、日赤奈良県支部に対して付添看護員や講師の派遣要請を行いました(付添看護員1件、講師派遣1件)。

また、住宅火災に際して、火災見舞金、布団や毛布・日用品をお届けしております。

##### (2) 生活福祉資金貸付事業

県社協が実施主体となって行う事業で、貸付の手続き、助言等を行っています。57件の相談があり、5件の貸付がありました。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減った世帯を対象に、特例貸付の手続きを行いました。

相談件数は448件で、緊急小口資金173件、総合支援資金106件、総合支援資金の延長57件、総合支援資金の再貸付32件の貸付手続きを行いました。

##### (3) 基金預託事業

皆さまの温かいご理解をいただき、11件、1,461,002円のご寄付をいただきました(満中陰志等)。

(4) 給食サービス

民生委員・児童委員にご協力いただき、幕の内弁当を地域のひとり暮らし高齢者宅へ毎月2回（12月は1回）、安否確認を兼ねて、昼食の配食を行いました（年間1,423食 令和3年3月2回目の配食数は68食）。

(5) 家庭看護用品貸出事業（無償）

長期臥床にある高齢者等を対象に、延べベッド5台、車いす40台、歩行器4台の貸出を行いました。

(6) 日常生活自立支援事業

奈良県社会福祉協議会（県社協）が実施主体となつて行う事業で、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス利用援助における援助・助言、必要な手続きの援助、日常的な金銭の管理等を行う事業です（令和2年度末現在、利用者8名）。

(7) ボランティアの活動支援

地域福祉の推進に大きな役割をもつ、ボランティアの自発的・積極的な活動を支援しています。

令和2年度末現在、社協登録ボランティアとして、個人登録11名、団体登録として30団体（578名）に登録いただいております。

(8) 福祉車両貸出事業

車いすを使用する等の通院等を支援するため、車いすに乗ったまま乗降できる福祉車両の貸出を行いました（5件）。

(9) パークゴルフ用具の貸出

パークゴルフ・トレーニングコース（古寺）を利用された方に、クラブ及びボールの貸出を行いました（令和2年度1件）。

(10) 新型コロナウイルス感染症の影響による支援資金貸付事業

令和2年7月から、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮された世帯対象に200,000円を限度とした貸付事業を実施し、21件、20世帯に貸付を行いました。

(11) フードレスキュー

生活に困窮された世帯に、町独自のフードレスキュー（16件）を実施しました。

(12) 災害時への準備

3月に王寺町社会福祉協議会で実施されました、北葛城郡社会福祉協議会事務局主催の「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」に職員全員で参加しました。

広陵町共同募金委員会よりホンダ製ポータブル発電機、蓄電機の助成を受けました。

また、災害時に備えて災害用備品を購入しました。

### 3. 町受託事業サービス区分

(1) 意思疎通支援事業

通院等で手話通訳が必要な方に、手話通訳者の派遣を行いました（153件）。

(2) 手話奉仕員養成講座

基礎編（全25回・7名修了）を開催いたしました。

(3) 老人福祉センター委託事業

町からの委託事業として、さわやかホール3階の老人福祉センター（利用者数13,026人）とグリーンドーム（利用者数1,131人）の管理運営業務を行いました。

(4) 会館管理補助業務

町からの委託事業として、さわやかホール（利用者数8,432人）の会館管理業務を行いました。

(5) 生活支援体制整備事業

住民の皆さんが住み慣れた地域で元気でいきいきと心豊かに暮らし続けられるよう、住民の皆さん、行政、社協との共同で、生活支援など支え合うなかまづくり、地域づくりを目指しています。

【6月】「広陵ささえ愛（協議体）通信」第1号発行

【8月】第2回広陵ささえ愛勉強会開催

【10月】「広陵ささえ愛（協議体）通信」第2号発行

【2月】第3回広陵ささえ愛勉強会開催

(6) 福祉団体活動支援事業

老人クラブ、遺族会、母子寡婦福祉会、身体障がい者交友会、手をつなぐ育成会の支援業務をおこないました。

### 4. 共同募金事業サービス区分

(1) 歳末慰問事業の実施

奈良県共同募金会より配分金をいただき、歳末慰問事業として、生活保護世帯（104世帯）に1世帯あたりお米5kgと、要保護児童世帯及び準要保護児童世帯（159世帯）に図書カードを贈りました。

(2) 歳末社協イベント

新型コロナウイルス感染症予防のため、実施しませんでした。

(3) 「ふれあい・いきいきサロン」運営の支援

地域住民が自主的に運営し、高齢者、障がい者、子育て中の親子などが地域で孤立することなく、地域住民との交流や仲間づくり、社会参加ができる場である「ふれあい・いきいきサロン」の運営を支援するため、活動費の助成を行っています。

令和2年度末現在、24地区で運営されています。

(4) ひとり親家庭 親子ふれあい交流事業

新型コロナウイルス感染症予防のため、実施しませんでした。

(5) 地域福祉委員の設置

小地域における福祉の問題や要望を発見し、民生委員と連携しながら地域住民とともに「福祉のまちづくり」を進めていく推進役として7地区19名の地域福祉委員を設置しています。

5. 福祉資金貸付事業サービス区分

低所得の方に対する一時的な生活資金として、12か月以内の返済を条件に、5万円を上限として無利子での貸付を行いました（13件）。